

令和元年度決算に対する各会派の意見

政友会

令和元年度一般会計の歳入決算額は512億4,500万円（前年対比9億6,100万円増）、実質収支は11億7,900万円の黒字で財政の判断基準は健全といえる。コロナ禍の中、切れ目のない感染症対策と経済支援、子供たちへの学校ICT環境の早期整備を期待する。

| | |
|-------|-------|
| 鈴木 隆 | 佐藤 泉 |
| 大島 信夫 | 鈴木 務 |
| 小森谷博之 | 渡邊 澄夫 |

古河市公明党

令和元年度一般会計の実質収支は11億7,900万円の黒字である。また、実質公債費比率は8.2%、将来負担比率は67.2%であり、財政の健全化は順調と言える。今後は事業の効率化と自主財源の確保および、市民負担の公平性の観点から、収入未済額解消への努力を望む。

| | |
|-------|-------|
| 高橋 秀彰 | 佐藤 稔 |
| 轟見久美子 | 渡辺 松男 |

真政会

一般会計ならびに各特別会計の決算状況については、概ね的確な予算執行が行われていたと思われる。今後も国・県の動向に注視するなどにより、新たな財源確保に努めながら、必要に応じた事業には積極的に取り組んでいただきたい。

| | |
|-------|-------|
| 黒川 輝男 | 赤坂 育男 |
| 青木 和夫 | 稲葉 貴大 |
| 園部 増治 | |

市民ベースの会

民生費においては、人口減に歯止めをかけ、人口増加の施策を望む。また、多子世帯の子育て支援の充実も重要である。歳入においては、収納率向上の方策を望む。古河駅東部土地区画整理事業は、市民の望む大型ショッピングモール誘致に全力で取り組んでほしい。

| | |
|-------|-------|
| 落合 康之 | 増田 悟 |
| 倉持 健一 | 阿久津佳子 |
| 長浜 音一 | 生沼 繁 |

会派に属さない議員

令和元年度決算は、適正な予算執行であったと考えるが、時効による債権放棄について、改善が必要と感じた。今後の改善を望む。

12の特別会計で一般会計等から繰入金がある。会計ごとの独立採算強化、事業の必要性の検証、経費節減、効率的事業執行を求める。

令和元年度決算は、県事業の肩代わりの筑西幹線道路延伸整備や、仁連地区新産業用地開発等、開発優先の決算のため反対である。

小山 高正

古川 一美

秋庭 繁